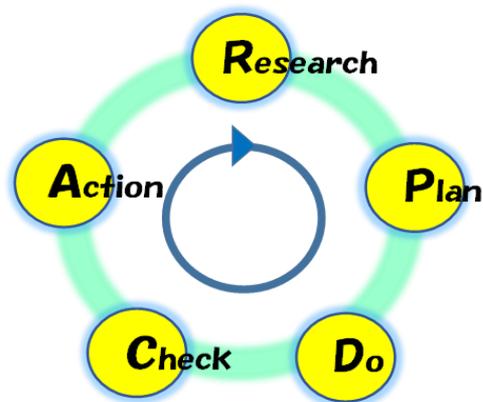


新川崎市学習状況調査について



令和5年3月29日(水)

川崎市総合教育センター

カリキュラムセンター

本日の内容について

①新川崎市学習状況調査の概要

②新川崎市学習状況調査の目的

③新川崎市学習状況調査の特色

④新川崎市学習状況調査の各事業



新川崎市学習状況調査 対象 調査教科等 実施日

○調査対象

小4から中3までの6学年に拡充

○調査教科

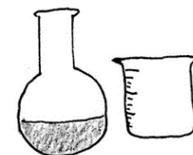
小学校：国、算、学習意識調査

中学校：国、社、数、理、英、学習意識調査

○実施時期

小中ともに4月始業式翌週の火曜日～金曜日のうち各学校が設定する日。学校の実態に応じて複数日での実施や学年ごとの実施なども可能。

令和5年度は4月11日（火）～14日（金）



かわさき教育プラン 基本政策Ⅱ 「施策Ⅰ.確かな学力の育成」

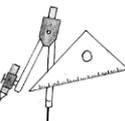
「すべての子どもが『わかる』ことをめざして、一人一台端末を最大限に活用しながら、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的にした学習活動の充実を図っていきます。」

「児童生徒・保護者」「各学校」「校長会・各研究（部）会」
「教育委員会」の各主体の取組



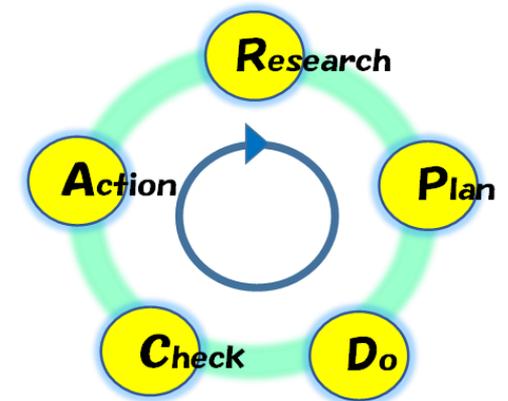
新川崎市学習状況調査の目的

- 児童生徒・保護者は学習の取組を振り返り、課題を的確に把握し、学習改善に生かす。
- 学校は学校教育目標等で示した資質・能力の育成に向けて、調査結果を分析し、個に応じた指導や学校（学年）での授業改善、教育課程編成等に生かす。
- 校長会、各研究（部）会は教育委員会と連携して全市的な結果の分析と授業改善の具体的な手立て、個に応じた指導の手立て等を研究し、説明会や各研究（部）会の事業等で教員に伝達する。
- 教育委員会は全市的な児童生徒の学習状況を経年調査することにより、学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。



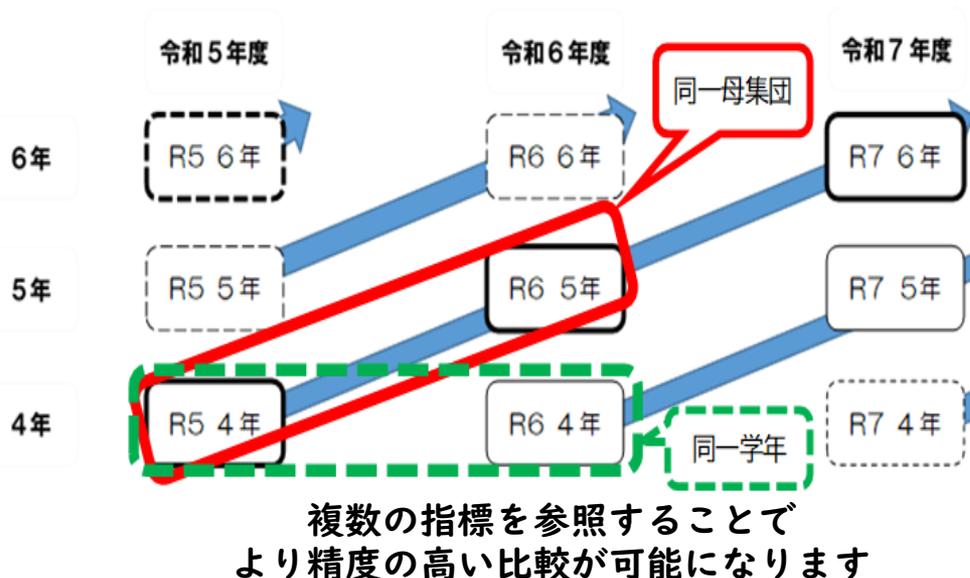
新川崎市学習状況調査 活用の基本的な考え方

学習指導要領、かわさき教育プラン、学校教育目標等で示された資質・能力の育成に向けて、児童生徒・保護者、各学校、校長会・各研究（部）会、教育委員会のそれぞれが主体となり、RPDCAサイクルを進める。



新川崎市学習状況調査 作問・採点

IRT (Item Response Theory) に基づき、業務委託先のベネッセコーポレーションが問題を作成し採点。この理論では、問題の難易度などについて事前調査を行い、検証を経て出題するため、毎年新しい問題でありながら同程度の難易度となり、経年で比較・分析が可能となる。



《これまで》

小5と中2の調査・意識調査の経年比較

《これから》

○小4～中3までの調査で児童生徒一人ひとりのより詳しい状況把握

○IRTによる作問で、意識調査だけではなく教科の調査結果も経年比較可能

新川崎市学習状況調査 配布資料

○児童生徒：個人票（紙帳票）

あなたの結果

教科別正答率 (%) 本町全体の平均正答率を記載しています。

教科	国語	数学	英語	社会	理科
国語	52.0	45.4	63.2	70.9	16.7
数学	38.7	55.1	31.8	59.5	55.6
英語	91.2	70.5	90.0	74.0	92.9
社会	80.6	56.1	85.7	58.0	70.0
理科	52.6	57.2	54.2	61.2	50.0

200X年度学期
2年 1組 1番 (0000000000)
140001 ●●●●●中学校
姓 名

国語 **数学** **英語** **社会** **理科**

① 得意分野 **得意分野** **得意分野** **得意分野** **得意分野**

② 苦手分野 **苦手分野** **苦手分野** **苦手分野** **苦手分野**

あなたの答えと○×

学習に関するアンケート (学年向上に際しての追加アンケート10問)

● 最も大切な項目

○ 重要項目

× 重要でない項目

学習に関するアンケート (学年向上に際しての追加アンケート10問)

● 最も大切な項目

○ 重要項目

× 重要でない項目

○学校：学年票（紙帳票）

学年票 教科に関する調査

20X年度1学期 児童A中学校 3年

教科別正答率 (平均正答率)

教科	国語	数学	英語	社会	理科
国語	61.2	49.5	66.1	65.1	42.2
数学	56.7	54.4	63.2	60.1	36.4
英語	56.9	56.8	63.9	63.9	46.9
社会	65.1	63.7	60.2	70.4	40.3
理科	61.2	51.4	65.7	66.0	35.2

学力層の考え方 (A層: 定着、B層: 理解、C層: 応用、D層: 活用)

国語 数学 英語 社会 理科

学年票 意識に関する調査

川崎市が実施している 質問項目

質問は、必ずすべて、回答してください。

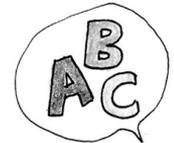
質問する一層の傾向を把握していますか。

自分の目と自分の意見が一致していますか。

質問をすることで、自分の意見が明確になりましたか。

質問をすることで、自分の意見が明確になりましたか。

質問をすることで、自分の意見が明確になりましたか。



新川崎市学習状況調査 端末活用

Owebシステム「SYEN」

教科調査の設問ごとの正答率一覧

質問番号	カテゴリー 上段・検点 中段・要素 下段・小要素	質問内容	見本市	全国	見本市学力層別														
					設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	見本市	全国	全国との 差	見本市学力層別					判定 ライン	
					大問	小問							A層	B層	C層	D層	A I D 層		
1	学びの基礎力 豊かな基礎体験	友だちと外で遊んでいる。	83.8	78.8															
2	学びの基礎力 豊かな基礎体験	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	85.4	84.8	1	1	ア	6.03×2.7を計算する	基礎	短答式	76.7	73.5	3.2	96.7	78.3	80.0	51.7		
					1	1	イ	81.5÷3.4を計算する	基礎	短答式	57.5	41.5	16.0	93.3	71.7	51.7	13.3	80.0	Ⅲ
3	学びの基礎力 豊かな基礎体験	本や新聞を読んでいる。	71.3	64.8	1	1	ウ	3/5+9/10を計算する	基礎	短答式	86.7	83.8	2.9	98.3	98.3	93.3	56.7	41.6	
					1	1	エ	1 2/9-5/6を計算する	基礎	短答式	72.1	67.2	4.9	100.0	83.3	73.3	31.7	68.3	Ⅲ
4	学びの基礎力 豊かな基礎体験	パソコンやインターネットを使う。	82.9	85.9	1	2		8と12の公倍数を求める	基礎	短答式	67.5	69.0	-1.5	93.3	85.0	60.0	31.7	61.6	Ⅲ
					1	3		5÷14の商を分数で表す	基礎	短答式	71.7	64.3	7.4	100.0	86.7	80.0	20.0	80.0	Ⅲ
4	学びの基礎力 豊かな基礎体験	パソコンやインターネットを使う。	82.9	85.9	2	1		ひし形の面積を求める	基礎	短答式	61.7	60.4	1.3	100.0	73.3	56.7	16.7	83.3	Ⅲ
					2	2		三角形の面積で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	77.9	74.3	3.6	96.7	91.7	85.0	38.3	58.4	Ⅲ
					2	3		立方体を組み合わせた立体の体積を求める	応用	短答式	55.0	56.9	-1.9	90.0	76.7	41.7	11.7	78.3	Ⅱ
					2	4		二等辺三角形の角の大きさで正しいものを選ぶ	基礎	選択式	64.2	64.0	0.2	96.7	81.7	51.7	26.7	70.0	Ⅱ
					2	5	ア	合同な四角形で対応する辺を選ぶ	基礎	選択式	64.2	61.4	2.8	83.3	75.0	55.0	43.3	40.0	
					2	5	イ	合同な四角形で対応する角の大きさを選ぶ	基礎	選択式	55.8	48.8	7.0	83.3	73.3	36.7	30.0	53.3	Ⅱ
4	学びの基礎力 豊かな基礎体験	パソコンやインターネットを使う。	82.9	85.9	2	6	ア	三角柱の側面の数で正しいものを選ぶ	基礎	選択式	72.5	69.8	2.7	90.0	81.7	75.0	43.3	46.7	
					2	6	イ	三角柱の高さで正しいものを選ぶ	基礎	選択式	95.8	94.7	1.1	98.3	98.3	98.3	88.3	10.0	
3	1				3.5Lのペンキで塗れる壁の面積を求める	基礎	短答式	70.8	72.7	-1.9	98.3	88.3	70.0	26.7	71.6	Ⅲ			

学習意識調査の結果一覧

○個人の結果とGIGA端末の学習ソフトが連携

児童生徒に配布される個人票には2次元コードが付いていて
GIGA端末で読み取ることにより、一人一人の調査結果に応じた問題が、学習ソフトで自動生成される。



新川崎市学習状況調査 学校報告書

保護者の皆様

令和●年○月○日

川崎市立○○○学校
校長 ○○ ○○

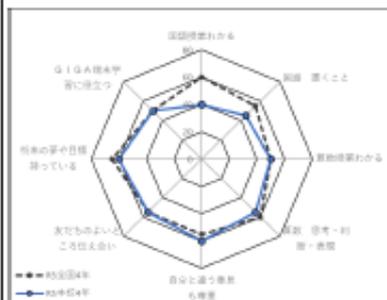
令和●年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月○日(○)～△日(△)に行いました○～○年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月○日(□)に行いました○年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す生徒等)の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童(生徒)の実態の一部であり、学校における教育活動の一面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す生徒等)

- 自らの人生やこれからの社会をよりよくしていくために必要な知識及び技能(知識及び技能の習得)
- 身近な課題に気づき、他者との対話や議論を通して解決に向けた手段を考えるための思考力、判断力、表現力(思考力、判断力、表現力等の育成)
- 多様な人々と尊重し合いながら協働し、自分のよさを生かしながら、よりよく生きようとする態度(学びに向かう力、人間性等の涵養)

令和●年度 川崎市学習状況調査 4年生

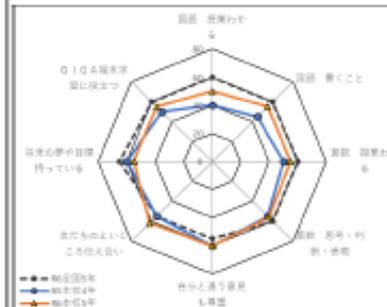


・「国語の授業がわかる」は○ポイントで全国平均を下回っています。授業では自分の考えを整理する時間や課題に対してまとめる時間を大切に、児童の取組を認める支援を行いながら、児童が「できた実感」を得られるようにします。次年度は○ポイントアップを目指します。

・「算数 思考・判断・表現」は○ポイントで全国平均とはほぼ同じ○ポイントです。学校教育目標「他者との対話や議論を通して」を踏まえ、学んだことを生かして筋道を立てて考え、自分と友だちの考えの相違点を見つける活動を重視していきます。次年度は○ポイントアップを目指します。

・「友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている」は○ポイントで全国平均とはほぼ同じ○ポイントです。学校教育目標「多様な人々と尊重し合いながら協働し、自分のよさを生かしながら、よりよく生きようとする態度」を踏まえ、児童が友だちと関わり合いながら授業や行事等に取り組むことを大切にしつつ、自分のがんばりや、友達の良かったところを伝え合う活動を重視していきます。次年度は○ポイントアップを目指します。

令和●年度 川崎市学習状況調査 5年生



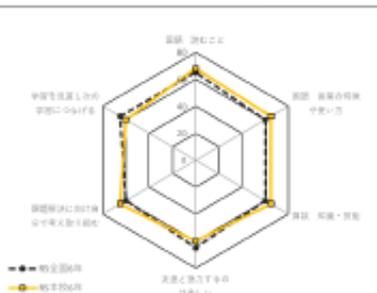
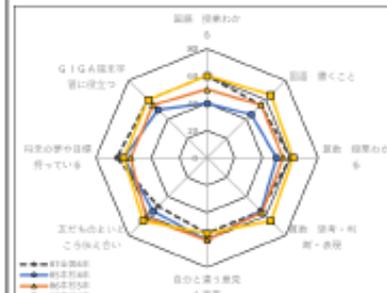
・「国語の授業がわかる」は○ポイントで全国平均を下回っていますが、4年次から○ポイント上昇しています。また「国語 書くこと」の数値も上昇しています。これまでの取組を継続しながら、表現力の向上を目指して、グループでの話し合いや発表の活動をさらに重視します。次年度は○ポイントアップを目指します。

・「算数 思考・判断・表現」は昨年度とほぼ同じでした。昨年度の取組の継続に加え、学んだことを生かして考えるための支援や身近な生活場面と算数をつなげて考える活動を重視していきます。次年度は○ポイントアップを目指します。

・「友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている」は○ポイントで昨年度掲げた数値を実現しました。5年から委員会活動も始まりましたので、学校全体に関わる取組でも、これまで同様によいところやがんばりを伝え合う活動を大切にします。次年度は○ポイントアップを目指します。

令和●年度 川崎市学習状況調査 6年生

全国学力・学習状況調査 6年生



・「国語の授業がわかる」は市の調査では全国平均と同等でしたが、3年間を経て着実に伸ばすことができました。今後も4、5年次の取組を継続します。全国調査「国語 読むこと」はほぼ全国平均と同等でした。読書活動を充実させるとともに、言葉の意味や表現の仕方に着目して文章丁寧に読み取り、話し合う活動を重視して、表現力向上や学校教育目標の「対話や議論」する力の育成を目指します。

・「算数 思考・判断・表現」は、昨年度掲げた目標を実現しました。全国調査「算数 知識・技能」も全国平均を○ポイント上回っています。全国調査「学習を見直し」次につなげる。数値が全国平均を下回っているため、算数のこれまでの取組を継続していくとともに、自分の学習を振り返って、よかったところを確認したり、次に生かすことを考えたりする活動を行います。見直しと振り返りを大切に授業に取り組んでまいります。

・「自分と違う意見も尊重している」については、昨年度より減少し、全国調査「友達と協力するのは楽しい」も全国平均を下回りました。様々な取組で中心となり活躍することが期待されている6年生です。日々の授業や委員会活動、実行委員活動等で、様々な意見のよさを認めて、よりよい考えを導き出す活動を重視し、学校教育目標で掲げている「尊重し合いながら協働」する力の育成を目指します。

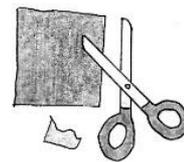
新川崎市学習状況調査 各事業の全体像

	4月「R」	7月～9月「P」	9月～1月「D」	2・3月「C」「A」	4月「R」
校長会・研究(部)会	新川崎市学習状況調査 実施	<ul style="list-style-type: none"> 「分析委員会」による各教科の全市結果の分析と研究 	<ul style="list-style-type: none"> 分析結果を、各事業（授業研究会、研修会等）へ反映 秋の担当者説明会で各教科の分析結果と授業改善の手立てを説明 	<ul style="list-style-type: none"> 研究（部）会での年間の取組の振り返り 次年度に向けた事業計画 	新川崎市学習状況調査 実施
教育委員会		<ul style="list-style-type: none"> 全教科の教科横断的な分析と研究、意識調査の分析 結果分析に向けた担当者研修会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 分析結果を、各事業（各種要請訪問、各種研修会等）へ反映 秋の担当者説明会で全教科の教科横断的な分析、意識調査の分析結果、授業改善の手立てを説明→全市報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> 各部署での年間の取組の振り返り 次年度に向けた事業計画と年度末の説明会 	
各学校・児童生徒		<ul style="list-style-type: none"> 自校の調査結果を踏まえた校内研修会開催 学校報告書作成と今後の取組の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善の取組、児童生徒の学習改善の支援 研究（部）会の諸事業や担当者説明会に参加、授業改善や学習改善支援等に生かす 	<ul style="list-style-type: none"> 年間反省等での年間取組振り返り、成果や課題等学校報告会等で伝達 次年度に向けた準備 	



新川崎市学習状況調査 今後の予定

- 現在 保護者向けの新調査について資料を周知済
学校向け説明動画配信中
ガイドブック暫定版掲載中→各学校での準備
- ガイドブック完成版 今後掲載 4月冊子配付
- 4月3日～5日の間に各学校に調査問題等が配付
11日以降の調査に向けて各学校での準備



新川崎市学習状況調査 保護者向けお知らせ

保護者の皆様へ

「令和の教育改革」一人ひとりの“わかる”に向けて 令和5年度 新しい川崎市学習状況調査が始まります



社会の変化が加速度を増す中、これからの社会を創り出していく子どもたちには自らの人生を切り拓いていくための資質・能力を育んでいくことが求められています。川崎市では、生涯にわたって学び続け、多様性を認め他者と協働しながら、自立した個人として生きていく方を一人ひとりが身につけることを大切に考えています。

どの授業で何を学んだのか、何をどのくらい身につけたのか。新しい川崎市学習状況調査では、小学校4年生から中学校3年生まで継続して調査を行い、子どもたちの学習状況を毎年で把握し、授業づくりに生かしていきます。また、子どもたち自身が自分の課題を把握し、次の学習に生かしていくことで生涯に渡って学ぶ力を育成していきます。

子どもたち一人ひとりの資質・能力を育むためには、学校の授業だけでなく、家庭や地域の理解と協力が大切になります。調査をもとにお子さんと一緒に話し合い、学習の改善に取り組むことにご協力をお願いします。

新川崎市学習状況調査について

- 調査実施日 4月始業式翌週の火曜日～金曜日のうち各学校が設定します。
※令和5年度は、4月11日(火)～14日(金)です。

詳しくは、学校からお知らせがあります。

- 調査対象 小学4年生～中学3年生
- 調査内容 小学校：国語、算数、学習意識調査
中学校：国語、社会、数学、理科、英語、学習意識調査
- 調査範囲 小中学校とも、前学年までの学習内容
- 欠席対応 対応期間：4月11日(火)～20日(木)

結果が蓄積されていきますので、調査へのご参加をお願いします。

※令和5年度については紙での調査となりますが、今後に向けて CBT 調査(コンピュータ入力での調査)を検討しています。

新川崎市学習状況調査は、今までとどう違うの？

IRT(項目反応理論)^{*)}に基づく問題を使って小学4年生から中学3年生まで毎年調査することで、学年や子ども一人ひとりの学習状況を毎年で把握することが可能になります。調査結果をもとに学校はよりよい授業づくりに取り組み、子どもたちは自分の課題を把握して、自身の学習の改善を進めます。また、調査結果は GIGA 端末で利用できる学習ソフトと連携するので、自分に合った問題に取り組むことができるようになります。

IRT(項目反応理論)^{*)} 従来のテスト評価方法では異なる問題の「異なる問題での結果」の比較を可能にする調査理論です。

保護者の皆様へお願い

川崎市学習状況調査は、お子さんが保護者の皆様とともに自分自身の学習の取組を振り返り、課題(苦手なことや今後取り組みたいこと)を的確に把握することで、自らの学習を改善していくことを目的の一つとして実施しています。

調査結果からお子さんのよさを認め、お子さんが自らの課題を把握して、自分の学習を振り返りながら自分のよいところをさらに伸ばしていけるよう保護者の皆様へ次の3つの取組をお願いします。

○学習の取組を振り返ります

調査結果からお子さんが学習した内容をどれだけ身につけているかがわかります。学校から調査結果を受け取りましたら、お子さんの解答を確認しながら、普段の学習の取組についてお子さんとともに振り返りましょう。



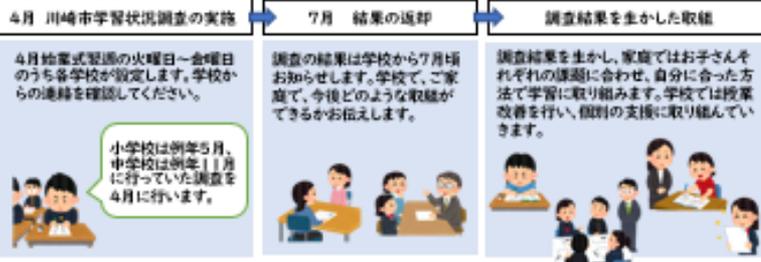
○課題を的確に把握します

お子さん自身が「自分の課題は何か」について把握するところから学習の改善ははじまります。お子さん自身の振り返りや先生との話し合いをもとに、お子さんが「自分の課題についてこのように取り組もう」と自分に合った取組を見つけられているか家庭で一緒に確認しましょう。

○自らの学習改善に生かします

学習の取組を振り返り、自分の課題を把握したお子さんが、継続して自ら課題に取り組んでいるように家庭での学習を進めてください。その際、調査結果は GIGA 端末の学習ソフトと連携していますので家庭学習でもご活用ください。調査は毎年で実施しますので、前年度との比較からお子さんの成長をみていただけます。

年間スケジュールについて



新調査の目的、特色を踏まえ
年間を見通した様々な事業を通して

児童生徒一人ひとりの
「わかる」の実感に向け

令和5年度から新川崎市学習状況調査を
実施してまいります

